

なるみず 2025

概要版

鳴水校区 第一次

小地域福祉活動計画

～子どもから年長者まで～
ふれあいのある街づくり



2029

話し合い

小地域福祉活動計画策定委員会
様々なジャンルの委員が集合。
まちの将来について話し合うこ
とで、まちのよさを再確認しまし
た。毎回の会議が、笑顔が絶え
ない楽しい話し合いでした。



見守り

サロン活動
鳴水・岩田・平尾・八千代の4
つのサロンで活動していま
す。どのサロンもイベントが盛
りだくさん。一緒にやりません
か!!



Narumizu

Banco

(ポルトガル語：腰かけ・ベンチ)

つながり

三世代交流事業

子どもから年長者まで集合！
三世代交流のポッチャで盛り
上がりました。『楽しかった』
『来年も楽しみです』またやろ
うね!!



助け合い

図上訓練

近年自然災害が増えています。
「対岸の火事」ではなくなり
ました。いつ災害が起こっ
ても対応できるように、日頃
からの訓練が重要です。

鳴水校区では、

○地域の見守り活動をしていただけるボランティア、
『福祉協力員』を募集しています。

一人暮らしの高齢のご近所さんに声かけしたり、元気のない人を見守っ
たりする活動者が「福祉協力員」です。できることから始めてみませんか。

○行事ごとに活動をお手伝いしていただけるボランティア、
『行事ボランティア』もあわせて募集しています。



～子どもから年長者まで～ふれあいのある街づくり

鳴水校区では、地域共生社会の実現に向けて、子どもから高齢者まで、誰もが住み慣れたところで安心して生活できるまちにしたいと願い、2025年から2029年までの5ヵ年に行う『基本理念』『基本目標』『主な取組み』『重点実施項目』を定めました。

◆ 3つの基本目標と35の取組み ◆

基本目標	一人じゃないよ つながろう 地域交流のWA!!	おとなりさん お元気ですか？ 安心して住めるまち・鳴水	ボランティアって 楽しいよ！ 未来のリーダーを さがせ!!
	鳴水校区では市民センターや地域内の各所で交流事業がさかんに行われています。様々な講座やクラブ活動も数多く開催され大変好評です。 今後はコロナ禍で中断・縮小した取組みを様々な工夫で復活していこうと考えています。今まで参加できなかった方も、みんなで一緒に活動することで住民同士の交流の輪を広げ元気な地域にしていきたいです。	現在は、福祉協力員が民生委員・児童委員と協力し、高齢者の見守り活動を行っています。また、個人の協力者による登下校時の小学生の見守り活動も活発です。今後は訪問して声かけを行うだけではなく、交流の場を増やしながら近所の住民同士でお互いに見守り合い、気になることがあればつなぐ地域づくりを進めます。	様々なボランティアの形を提案することで担い手を掘り起こしていきます。誰もができるときにできることで協力し助け合って地域友好の輪を広げていきます。そして、地域の未来を担う世代に楽しく活動が続けられるよう工夫します。
方向性			
主な取組み	・サロン活動【鳴水、岩田、平尾、八千代】（社協） ・門松づくり（まち協） ・子ども食堂（岩田公園いこいの家） ・子育てフリースペース「なるっこルーム」（市民センター、子育てサポーター） ・サマーフェスタ（まち協、市民センター） ・やまつばき（市社協の通所事業） ・鳴水市民センターまつり ・三世代交流（社協） ・行政とのつなぎ（民児協） ・道路サポーター（まち協） ・撥川清掃（自治区会） ・ホタル育成（黒崎中学校、ラブリバー撥川ネットワーク）	・高齢者等見守り訪問活動（社協、民児協） ・子ども見守り活動 ・助け合い活動【ゴミ出し、買い物等】（社協、民児協） ・「お元気ですか？」の配付（社協） ・一人暮らし高齢者への年賀状（社協、鳴水小学校、インクル八千代） ・75歳以上一人暮らし懇親会（社協） ・広報誌「なるみず」発行（社協） ・赤い羽根、歳末助け合い運動（社協、自治区会） ・防犯パトロール（まち協、自治区会） ・歳末火の用心（自治区会、児童） ・健康チェックフェア（まち協、市民センター） ・交通・防犯講話（八幡西警察署）	・話し合い活動【連絡調整会議】（社協） ・ワンコイン交流会（社協） ・バス研修（社協、まち協） ・民生委員・児童委員、福祉協力員研修会（社協、民児協） ・夏休みラジオ体操（まち協） ・子ども菜園事業（まち協、市民センター） ・子どものバンコ作り（まち協、市民センター） ・もちつき大会（まち協） ・健康ウォーキング（まち協、市民センター） ・防災訓練 ・地域フィールドワーク（黒崎中学校）

◆ 重点実施項目

基本目標を達成するために
特に力を入れて取り組む内容です

生活の困りごとを気軽に話せて 助け合うしくみをつくろう

抱える問題点

地域の高齢化や子どもの居場所、子育ての悩み等身近な困りごとを相談する機会が少ない。

解決のために取り組むこと

サロンを充実させ集いの場を拡げます。「ふくし（ふだんのくらしのしあわせ）の実現に向けて、みんなで考え学び合う場をつくったり、困りごとの把握や解決に向けて住民同士助け合うしくみづくりに取り組んだりします。

子どもをまんなかにして 若い人とつながろう

抱える問題点

若い世代や保護者世代との交流の場や地域に関心をもってもらえる機会が少ない。

解決のために取り組むこと

世代を越えて“地域の宝”の子どもをまんなかにして地域を盛り上げます。地域住民の交流を深めながら、未来のリーダーの育成を図ります。